

乳牛の改良を支援

ーフィールドと畜産センターで受精卵採取ー

6月26日、南丹市の酪農家に家畜保健衛生所と当センターの職員が出向き、乳牛の受精卵を採取しました。この取り組みは、牛乳を沢山搾れる能力の高い牛の子孫を多く誕生させることにより、酪農家の経営向上を目指すもので、当センターの高能力牛の受精卵譲渡と併せて、乳牛の改良を支援しています。



バイオカウライナーで農家に出向き受精卵を採取



畜産センターの高能力牛

畜産センター